

2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 島 田 卓
(コード番号：6190 東証グロース)
問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘
(TEL 082-431-0016)

営業外費用（為替差損）、営業外収益（補助金収入）、繰延税金資産の計上及び
通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、営業外費用（為替差損）、営業外収益（補助金収入）、繰延税金資産を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2023年2月14日に公表いたしました2023年3月期の業績予想値と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 営業外費用（為替差損）の計上

2023年3月期第3四半期連結累計期間において、為替差損19,311千円を計上していましたが、外国為替相場の変動に伴い、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、為替差益10,170千円が発生いたしました。

この結果、営業外費用の為替差損が減少し、2023年3月期において為替差損9,140千円を計上いたしました。これは主として、当社保有の外貨建債権債務の決済及び2023年3月末時点の為替レートで評価替えを行ったことにより発生したものであります。

2. 営業外収益（補助金収入）の計上

2023年3月28日までに大学との共同研究に対して研究員を派遣したことによる広島県のイノベーション人材等育成事業補助金6,000千円を受領しており、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、補助金収入として計上いたしました。

2023年3月期において、その他の補助金収入と合わせて8,584千円を営業外収益で計上いたしました。

3. 繰延税金資産の計上

当社は、今後の業績見通しを勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上することといたしました。

これにより、2023年3月期の法人税等調整額（△は利益）は△32,928千円となりました。

4. 2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異
(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	2,021	332	325	281	83.52
今回実績(B)	2,124	508	511	493	145.23
増減額(B-A)	102	175	186	211	—
増減率(%)	5.1	52.9	57.2	75.1	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,324	△167	△127	△387	△117.50

5. 差異の理由

2023年3月期の連結業績につきまして、売上高は受託試験及びPXBマウス販売が順調に消化できたことにより前回の計画値から上積みとなりました。損益面につきましては、売上高の増加に加えて、安定生産に取り組んでいる海外でのPXBマウス生産で成果が見え始めており、生産コストの減少が売上原価の抑制につながり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は計画値を大きく上回ることとなりました。

以 上